



## 浅井忠・武田五一と神坂雪佳 —京都高等工芸学校・京都市立美術工芸学校の図案教育I

2014年7月14日(月)–9月5日(金)

開館時間 10時–17時(入館は16時30分まで)

休館日 日曜・祝日・8月11日(月)~16日(土)

入館料 一般200円、大学生150円、高校生以下無料

\*ただし、京都・大学ミュージアム連携所属大学の学生は無料です。

お問合せ 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町  
TEL 075-724-7924 <http://www.museum.kit.ac.jp/>

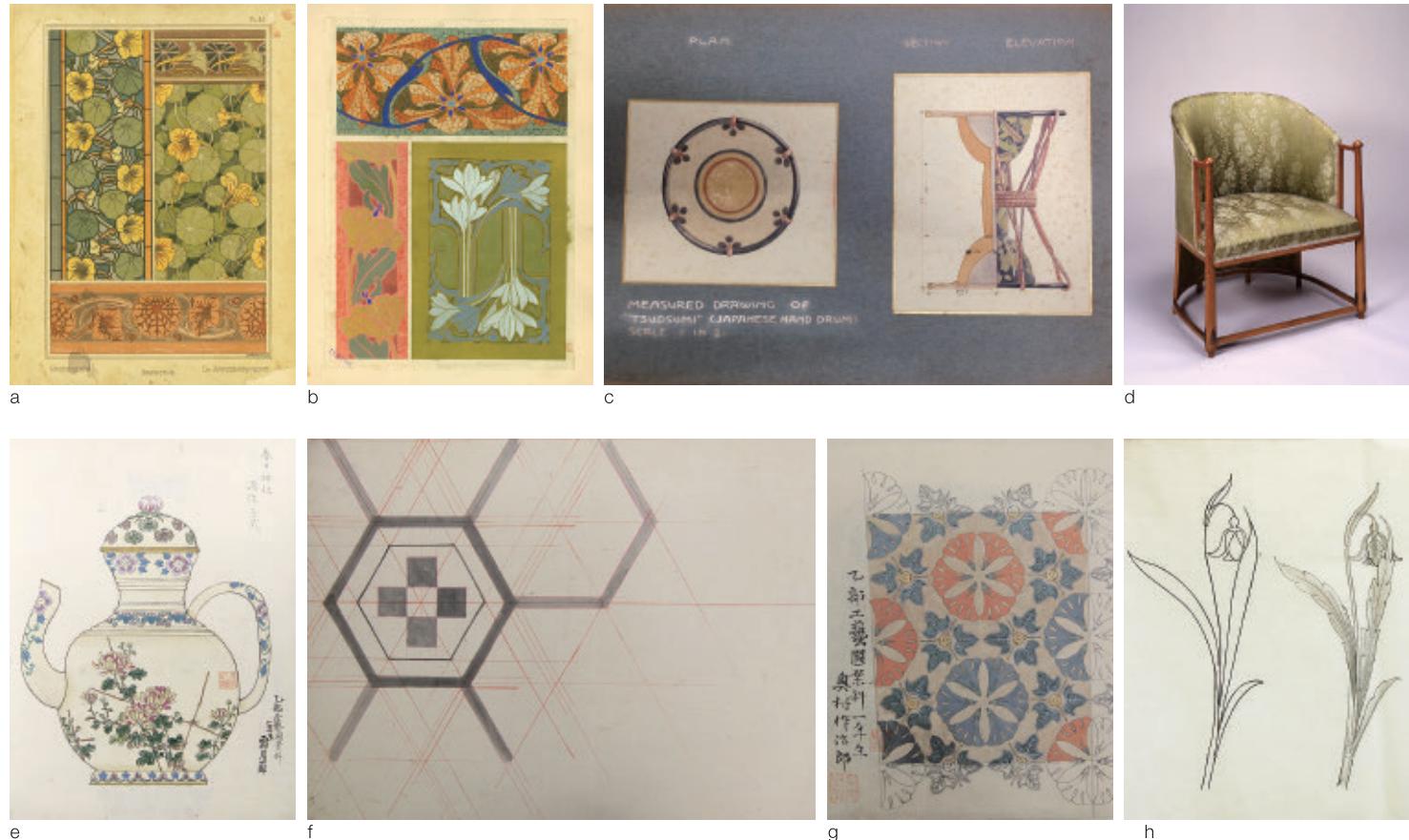
# 浅井忠・武田五一と神坂雪佳

## —京都高等工芸学校・京都市立美術工芸学校の図案教育 I

本展覧会は、2011年度に京都市内の13大学14ミュージアムが連携して立ち上げた「京都・大学ミュージアム連携」の活動の一環として、京都工芸繊維大学美術工芸資料館と京都市立芸術大学芸術資料館の合同企画として開催するものです。

京都工芸繊維大学の前身校の一つである京都高等工芸学校は、1902(明治35)年に設立され、同校図案科では、洋画家であるとともに、図案家としても活動していた初代教授の浅井忠と建築家武田五一を中心として、積極的に当時の海外様式を取り込み、それらを図案教育に反映させました。一方、京都市立芸術大学の前身校である京都市立美術工芸学校は、幸野模嶺、望月玉泉、久保田米儀らが中心となって1880(明治13)年に創設された京都府画学校を起源としています。1901(明治34)年に京都市立美術工芸学校に改称された同校図案科では、画家であり図案家としても活動していた神坂雪佳や古谷紅麟を中心として、伝統的な絵画教育をベースとし、その延長として図案教育を実施していました。

連続企画の第1回目となる本展覧会では、両校図案科の最初期に教育に携わった浅井忠と武田五一、神坂雪佳と古谷紅麟に焦点を当て、教育に活用するために蒐集された資料を手がかりとして、設立背景と教育カリキュラムの側面から両校について比較します。



a. M.E. Grasset 『La planete et ses applications ornements. Nasturtium』 b. 作者不明 『M.P. Vernuille, L'animal dans la decoration. 模写』 c. 作者不明 『MEASURED DRAWING OF "TSUDSUMI" (JAPANESE HAND DRUM)』 d. 伝 武田五一 『植物模様安楽椅子』 e. 西村房四郎 『陶器模様図案模写』1894年ごろ f. 作者不明 『便化図案』明治時代 g. 奥村作治郎 『織物模様図案(画題:牽牛花)』1894年ごろ h. 作者不明 『便化図案(部分)』明治時代 (a~d: 京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵、e~h: 京都市立芸術大学芸術資料館蔵)

関連企画  
シンポジウム  
日時: 2014年8月30日(土)  
13:30 -

会場: 京都工芸繊維大学 60周年記念館  
佐藤敬二(京都精華大学ギャラリーフロール教授)  
松尾芳樹(京都市立芸術大学芸術資料館学芸員)  
岡達也(本展企画担当)  
申込不要、入場無料  
※詳細は当館ホームページをご覧ください。

同時開催中  
『サトウサンペイの世界—四コマで切り取る昭和—』  
2014年5月26日(月)から2014年8月9日(土)まで

京都工芸繊維大学美術工芸資料館  
606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町  
Tel 075-724-7924, <http://www.museum.kit.ac.jp/>

Kyoto Institute of Technology, Museum and Archives  
Hashigami-cho, Matsugasaki, Sakyo-ku, Kyoto, 6068585, Japan

●JR「京都」駅、市営地下鉄「烏丸御池」駅から  
市営地下鉄烏丸線「国際会館」行に乗車、「松ヶ崎」駅下車、徒歩約8分  
(「松ヶ崎駅」の「出口1」から右(東)へ約400mm、4つ目の信号を右(南)へ約180m)

●京阪「出町柳」駅5番出口から  
京阪バス「大原」行、「岩倉実相院」行、「岩倉村松」行に乗車、「高野泉町」下車、橋を渡り左へ約200mm(徒歩約8分)  
By Subways: Take the "Kokusai Kaikan" bound Karasuma Lines Subway to "Matsugasaki" Station, and walk east for about 8 min.

